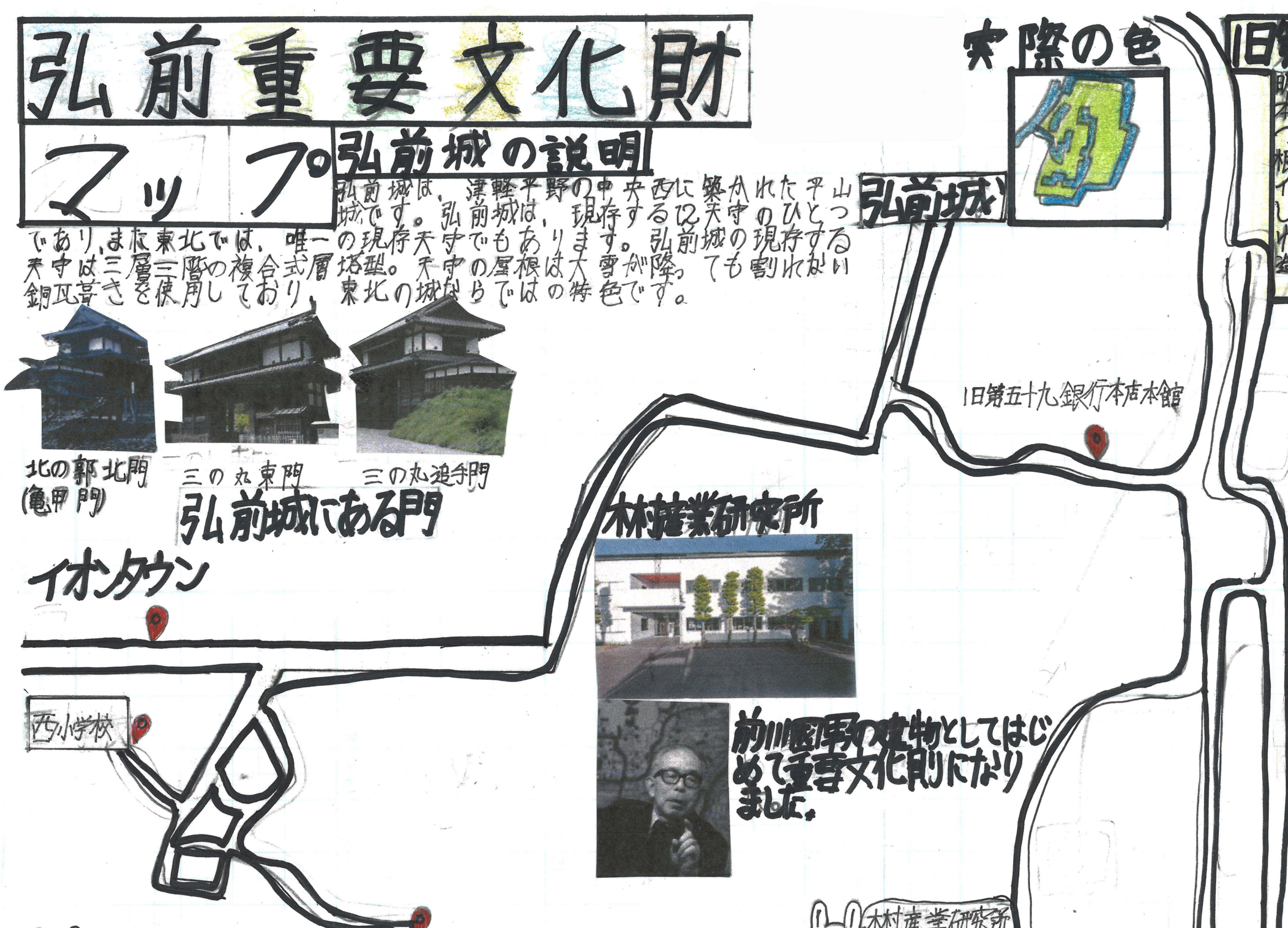
弘前重要文化財マップ

弘前城の説明

弘前城は、津軽平野の中央西に築かれた平山城です。弘前城は、現存する12天守のひとつでありまた東北では、唯一の現存天守でもあります。弘前城の現存する天守は三層三階の複合式層塔型。天守の屋根は大雪が降っても割れない銅瓦葺きを使用しており、東北の城ならではの特色です。


北の郭北門(亀甲門)
三の丸東門
三の丸追手門
弘前城にある門
実際の色
弘前城
イオンタウン
西小学校
旧第五十九銀行本店本館
木村産業研究所
長勝寺
木村産業研究所にも行ったよ!

前川國男の建物としてはじめて重要文化財になりました。

旧第五十九銀行本店本館

明治37年(1903)に完成した、第五十九銀行本店の建物。石づくりに見えますが木でつくられています。中央の入口や正面屋根に突き出た部分などにアーチ状のデザインを用いています。左右対しょうの美しい見た目ですが、かべの中にかわらを入れてぬりこめたり,土戸を使用する防火構造です。

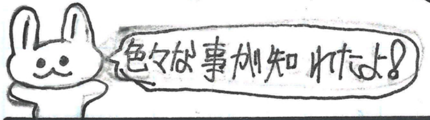
← 旧第五十九銀行本店本館

とてもきれいだったよ!

中の写真

＜感想＞

- 長勝寺では、色々な事が知れてよかったです。
- 第五十九銀行は、とてもきれいだった。



長勝寺

山号は太平山で曹洞宗の津軽家最初の菩提寺で日光東照宮と並び称される江戸時代初期の代表的な建造物です。津軽家の先祖大浦光信の死後その子盛信(大浦城主)ができ父のため享禄元年(1528年)種里(現存の鰺々沢町)に創建。本堂左手奥の五棟霊廟は御影堂より南へほぼ一直線に並びいずれも東に面して玉垣で囲われ正面に門を置いています。

■石垣修理

平成27年度に天守を曳屋(ひきや)。平成28～30年度で石垣の解体を完了。令和2年度から積み直し工事を開始。